

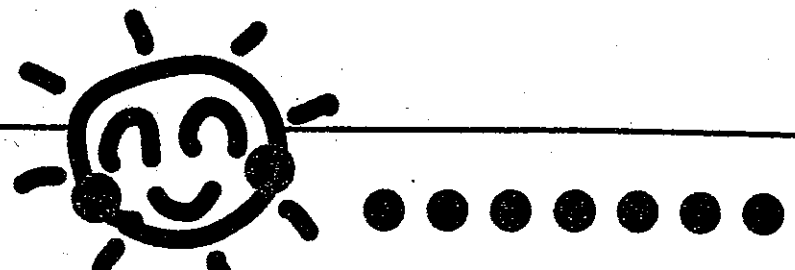
姫路市医師会
ほうもん かんご

訪問看護ステーションだより

居宅介護支援事業所

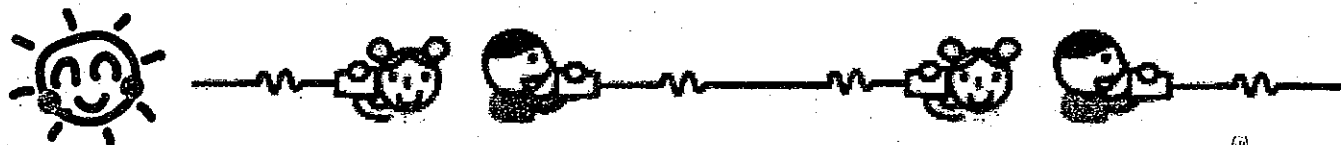
姫路市医師会訪問看護ステーション 姫路市西今宿3-7-21 TEL0792-95-3377

No. 005 2002. 10発行



創刊号から2回目の秋がめぐってきました。

前秋はタリバン空爆の話題でしたが、今年は北朝鮮拉致事件が日本中を騒がせています。理解できない大きな黒い雲が世界中を覆っているようで、どうなっていくのか不安です。ただ、今年もコスモスの花が咲いていました。忘れずに去年と同じ場所に。しなやかでやさしくて、本当に強いとはこの花のような事を言うのでしょうか。



中野先生より

数年前より時々往診をしていた患者さんが先日亡くなりました。

90歳近い小柄なおばあさんですが、両側大腿骨頸部骨折と慢性関節リウマチのため下肢の拘縮は高度で、それに加え、上肢には不随意運動がみられていました。

介護保険制度がはじまり、月1回程度ショートステイを利用していましたが、ショートステイから帰ってくると、下腿の何箇所かに褥創が形成されている事がよくありました。

主たる介護者であった長男の嫁は各種の軟膏類を巧みに使い分けながら何度も褥創を治癒させました。嚥下も充分でないためミキサー食を調整し、時にはエンシュアも利用し経口摂取での栄養は確保されていました。今年の夏、背部に皮疹がひろがり、調べてみると真菌でした。

その頃より、喀痰が増加し経口摂取がほとんど不可能となり、呼びかけに対する反応も低下したきた日に往診の依頼がありました。患者さんの子供、孫、ひ孫まで集まり、たいへん賑やかでした。病状の経過について説明すると患者さんの娘さんから「このまま自宅を最後まで迎えると、われわれとしては心残りではないでしょうか。」と質問がありました。が、患者さんは翌日の日曜日の昼過ぎに自宅で皆に看取られて亡くなりました。静かに最後の時を迎える人にとっては、家族の手厚い介護の前には、時として最新の医学もかすんで見えることさえあります。価値観の違いこそあれ、住み慣れた我が家で、家族に囲まれて最期を迎える事を望まない人はいないようにも思われます。言うまでもなく最も大変なのは、家族、特に介護者であります。

家族の負担を軽減しより質の高い在宅介護が可能になるよう、介護サービスの提供をともに考え、連携を密にする工夫が必要となります。今後の在宅介護では医療的なケアの必要性はますます高まっていくものと考えられます。ケアプラン作成には、訪問看護ステーションのご利用を御願いいたします。

中野診療所 中野 稔雄

ナースの知恵袋



疥癬(かいせん)とはどんなもの?

ヒゼンダニの感染によっておきる皮膚病の一つです。

- お腹や胸、太ももなどに、赤い小さなぼつぼつが出て、夜中特に痒くなる。
- 手首~手のひら、指の間に線状でわずかに隆起している疥癬トンネル(ヒゼンダニが皮膚表面の角層に潜り込んで卵を産みつける)ができる。
- 家族、同居人などに同じ症状の者がいる。…こんな症状があればすぐに皮膚科にかかりましょう。

疥癬といわれたら

疥癬は通常、皮膚と皮膚が接触する事によって感染します。畳の上での雑魚寝はヒゼンダニにとって絶好の感染のチャンスで、寮で集団感染する例もよく見られます。

また、角化型疥癬=ノルウェー疥癬の感染力は強力で、寄生するヒゼンダニの数が桁違いに多いために、病院や、老人ホーム内では、患者や、ケアスタッフ等にまで感染することもあります。

治療は、皮膚科の先生の処方された、外用薬(オイラックス安息香酸ベンジル、ムトーハップ等)や痒み止めの内服になります。必ず皮膚科の先生にかかり、軟膏やローションの効果を経過を追って診てもらいましょう。

○交換した衣類・オムツはポリ袋に入れて運びます。

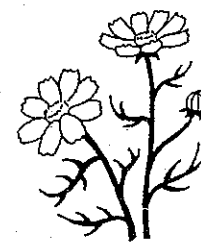


おすすめ一編 ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪

植えてみよ 花のそだたぬ里はなし

心からこそ 身は癒しけれ

良寛



良寛、号は大愚。何物にもとらわれない自由な心で歌を詠み、人間存在への深い洞察から生まれた漢詩や書をたくさん残しています。良寛は僧という宗教家でありながらどの宗派にも属さず、経を読むことも座禅を組むことも、説法をする事ありませんでした。酒に目がなく、さみしがり屋で無類の子どもも好きでした。良寛の懐にはいつも手毬があり、日がな一日、村の子供たちと毬つきをして遊びました。良寛の唱和の相手は花鳥風月おしなべて、およそこの世界の生命あるものすべてにその輪が広がり、分けへだてのない一体感が、生きる喜びとなって、どの歌や詩にも脈々と流れているのです…

誰の心も自由です。誰にも心を縛る事はできません

